

施策分析シート（平成22年度）

No1

施策名	介護予防の推進	施策No	02-02	部課名	福祉部 高齢者福祉課		
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	生涯健康都市 []					
	政策	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成 [0 2]					
目的	運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等を目的とした介護予防のための諸施策を推進し、高齢者がいつまでも健康で生きがいをもって、住み慣れた地域の中で日常生活を送れることを目的とする。						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (28年度)	
	特定高齢者出現率	1.2%	6.2%	4.3%	4.1%	-	特定高齢者数 / 対象者数 (22年度は見込み)
	高齢者会食サービス(おたっしやランチ・おげんきランチ)参加者数	5,918	7,728	7,769	8,500	9,000	延べ参加者数 (22年度は見込み)
	荒川ころばん・せらばん体操参加者数	55,559	54,850	59,645	60,000	65,000	延べ参加者数(22年度以降自主運営会場分も含む)
	認知症サポーター養成講座受講者数	403	1,552	841	1,000	1,200	延べ参加者数 (22年度は見込み)
	健康推進リーダー活動者数	177	225	203	250	280	ころばん体操・せらばん体操、おたっしやランチ、健康教室の合計 (重複あり、22年度は見込み)
現状と課題 (指標分析)	高齢化の進展に伴い、要支援・要介護状態となる高齢者が増加することが予想されることから、高齢者がいつまでも健康で生きがいをもって日常生活を営むために、特定高齢者(要支援・要介護状態となるおそれの高い高齢者)を早期に把握するとともに、予防プランの作成や事業参加の促進などを進め、介護予防に努める必要がある。 ころばん体操など介護予防事業については、膝痛に悩む高齢者の需要に応える事業を開発するなど、新たな展開を図る必要があるほか、高齢化の進展に伴い事業への参加が必要な高齢者の増加が見込まれることから、健康推進リーダを事業の担い手として養成する必要がある。 医療をめぐる環境が変化し、区民に対する的確な情報の提供が求められていることから、医療福祉相談体制を充実させる必要がある。						
今後の方向性	基本チェックを悉皆とし、また、介護予防健診の受診を促進して特定高齢者の把握を積極的に行うとともに、特定高齢者とされた方等に対しては、地域包括支援センターとも連携して、介護予防事業への参加を促進する。 介護予防事業については、一般高齢者も含め、さまざまな高齢者に適応した事業に気軽に参加でき積極的に取り組めるものとしていくほか、新たな需要に応じた事業を企画する。また、健康推進リーダーの育成も積極的に進め、介護予防の実施体制の充実を図る。 医療機関や地域包括支援センターとのネットワークを形成し相互の連携を強め、情報の共有化を進めるなど、医療情報についての相談・提供機能を強化する。						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	高齢化の進行に伴い、団塊の世代の高齢化などにより高齢者人口の増加が予想されることから、介護予防の一層の強化・充実に取り組むことにより、要介護者の増加の抑制を図ることが重要である。

施策分析シート（平成22年度）

No2

施策を構成する事務事業の優先度						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		20年度	21年度	前年度 設定	今年度 設定	
生活機能評価事業 （介護予防健診）	06-03-39	83,652	31,488	重点的 に推進	重点的 に推進	特定高齢者の決定を適切に行うためばかりでなく、介護予防の普及拡大を図り、高齢者がこれに主体的に取り組めるものとするための第一歩として重要である。
介護予防普及啓発事業	06-03-40	6,709	6,592	推進	推進	高齢者が生き生きと生活していくためには、低栄養など健康面のリスクを早期に発見し、改善を図る必要がある。
荒川ころばん・せらばん 体操	06-03-41	3,954	3,737	重点的 に推進	重点的 に推進	介護予防事業として区の代表的な事業であり、他の各事業の周知を図るためにもなお一層推進する。
荒川せらばん体操	06-03-42	139	0	推進	休止・ 完了	ころばん体操と同時に実施するため、ころばん体操に統合する。
ふれあい健康教室	06-03-43	899	842	継続	継続	高齢者の閉じこもり防止のため、身近な場所で実施していく。
学校給食を活用した高齢 者会食サービス事業 （おたっしやランチ）	06-03-44	4,110	4,029	推進	継続	高齢者の閉じこもり予防や栄養改善のため、引き続き実施する。
高齢者施設を活用した高 齢者会食サービス事業 （おげんきランチ）	06-03-45	4,371	5,193	推進	重点的 に推進	高齢者の閉じこもり予防や栄養改善を図るために拡充を図る。
脳と心の健康推進事業	06-03-46	1,545	1,989	重点的 に推進	重点的 に推進	認知症やうつについて、正しく理解し早期発見を可能とするために普及啓発を図る。
健康推進リーダー育成	06-03-47	587	709	重点的 に推進	推進	介護予防事業を、区民が主体となって広く展開していくうえでの必要性が高い。
理学療法士訪問指導	06-03-48	797	996	継続	継続	現状の規模で実施する
認知症 キャラバン・メイト	06-03-49	1,697	1,545	推進	推進	認知症を正しく理解し、認知症高齢者や家族を支援していく地域づくりに貢献することから必要性が高い。
小 計		108,460	57,120			

施策分析シート（平成22年度）

No3

施策を構成する事務事業の優先度						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		20年度	21年度	前年度 設定	今年度 設定	
医療福祉相談事業	06-03-50	-	5,629	重点的 に推進	重点的 に推進	日常区民から寄せられる医療相談に的確に答えるため、区内・近隣の医療機関、地域包括支援センター等関係機関との連携を強化することは必要である。
小 計		0	5,629			
合 計		108,460	62,749			